

## フェイス トゥ フェイス (みんなで協働推進ページ)

FACE  FACE 顔のみえる関係づくりでひろげる阿久比のまちづくり

## 「住民税1%町民予算枠制度」平成29年度実施事業報告

### 協働の輪が広がっています

4月24日に中央公民館本館301号室で、「住民税1%町民予算枠」わくわくアイデア事業・わくわくコラボ事業の公開事業報告会を開催しました。平成29年度に町が実施した、4つの「わくわくアイデア事業」の提案者へ感謝状を贈呈し、「わくわくコラボ事業」を実施した15組の団体が事業の報告を行いました。平成27年度個人住民税の現年課税分決算額である15億9,311万5,889円の1%に当たる1,593万円の予算枠に対して、1,355万1,348円をこの事業で使用しました。

#### わくわくアイデア事業 (提案者敬称略)



##### ① エレベーター内防災用チェア設置事業

(提案者:安井 洋子) (事業担当課:健康介護課) 決算額:5万2,920円

オアシスセンターのエレベーター内に非常用救援物資を収納した、非常用トイレにもなる災害用チェアを設置。防災への意識啓発に役立ち、エレベーターが停止したときにも活用できます。普段は椅子や荷物置き場として使用可能です。

##### ② 防災講演会

(提案者:防災ボランティアあぐい) (事業担当課:防災交通課) 決算額7万7,740円

2月10日、アグピアホールで、熊本県在住の防災士である柳原志保さんを招き、防災講演会を開催。東日本大震災と熊本地震の体験を約280人の参加者へ伝えました。「やっておけばよかった」と後悔しないために、「災害が起きる前に行動を」と呼び掛けました。



##### ③ スポーツ村町民開放日にトレーニングコーチ導入による活性化事業

(提案者:原 進) (事業担当課:社会教育課) 決算額:18万円

毎月第3日曜日の「スポーツ村すこやか町民開放日」に合わせ、トレーニングスクールを行い、204人が参加。数多くの自治体などで講師経験がある「体づくりのスペシャリスト」の平井由佐子さんを講師に招き、楽しく健康づくり・体づくりをしました。

##### ④ 児童に防災用キャップ無償配布事業

(提案者:防災ボランティアあぐい) (事業担当課:学校教育課) 決算額:539万4,600円

災害時に子どもの安全を確保するため、平成29年度在籍の全児童数分(1,850個)の防災用キャップを各小学校へ配布。学校や家庭での防災意識の向上にもつなげました。



## 平成31年度実施分の各事業を募集中

わくわくアイデア事業 **6月29日(金)締め切り**

町民の皆さんから町に実施を希望する事業について、公益的・公共的な視点で、地域の身近な課題の解決となる事業やまちづくりに有益な事業を募集します。皆さんの「ひらめき」や「アイデア」を提案してください。

わくわくコラボ事業 **8月1日(水)締め切り**

町民活動団体が自主的・自発的に実施する公益的なまちづくり事業に財政的支援を行います。皆さんの協働によるまちづくりへの想いをカタチにしてみませんか。